

イザベル・カンピオンの公開指導講座（少人数制）

”音楽家の為の運動療法”の役割とは何か？ ピアノ編

～フォーカル・ジストニアから演奏復帰した演奏家への指導を通して見えてくるもの～

「音楽家の為の運動療法」って、どんなことをやるの？」と興味をお持ちの方々に、その指導法と役割を知っていただくために、カンピオンの実際の指導を公開致します。

「まな板の上の鯉」となるのは、フォーカル・ジストニアから演奏復帰を果たしたピアノ奏者の黒木梨沙さん。

“音楽家の為の運動療法”は、トラブルの有る演奏家に有効なりハビリであるだけでなく、トラブルの無い演奏家にとっても演奏向上に繋がる合理的なメソッドであることを実感いただけることと思います。



講師：イザベル・カンピオン

(写真提供：パイパース)

* 講座構成は、モデル受講者への50分間の指導と、希望者2名へのワンポイントレッスン。

日 時：2014年11月7日（金）13時～14時30分

会 場：マイスペース アスピア Bスタジオ（京王新線幡ヶ谷駅北口から徒歩2分）

Tel 03-3374-6666 <http://www.velatec.co.jp/aspia/index.html>

講 師：イザベル・カンピオン（運動療法士）

モデル受講者：黒木 梨沙（ピアノ奏者）

通 訳：郡 尚恵（クラリネット奏者）

対 象：フォーカル・ジストニアの方を含む全ての演奏家、音楽学生、音楽指導者

参 加 費：4000円（定員8名）→ 事前にお申し込みください。

* お申込み：2014年10月24日（金）午後10時～10月28日（火）正午

PC・スマホ共用フォーム URL <http://ws.formzu.net/fgen/S96222611/>

携帯電話用フォーム URL <http://ws.formzu.net/mfgen/S96222611/>



《イザベル・カンピオン (Isabelle CAMPION) プロフィール》

運動療法士、アマチュアチェリスト。楽器演奏時に苦痛を伴う多くの演奏家の治療に当たっている。

2000年より演奏家のパフォーマンスや健康に焦点を当て、運動医学を専攻、また芸術医学のディプロムを取得。2002年より「音楽家の為のクリニック」勤務。そこで演奏家の職業疾患とその予防、テクニックや音楽表現のための動作の最適化、“あがり”の克服の研究、指導をしている。また、フランス国内外での講演会、オーケストラ、音楽教育機関でのトレーナーとしての活躍など、音楽に関する活動に大きな情熱を注いでいる。日本では、2009年よりコンセール・パリ・トーキョウ企画の講座で講師を務め、2010年からは毎年1回、東京藝術大学に於ける特別講座の講師を務めている。

《黒木梨沙 プロフィール》

桐朋女子高等学校音楽科を卒業後渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院ピアノ科「高等演奏家資格」及び室内楽科「コンサーティスト資格」を取得。1999年、パリを中心に伴奏・室内楽ピアニストとしての活動を始める。2001年頃に、音楽家の疾患であるフォーカル・ジストニアが右手に発症。2年のリハビリを経て回復するが、2004年に左手に再発症。

2006年に日本に帰国。その後は演奏困難な状態の中で活動を続けながら治療に取り組み、2013年に演奏復帰。

コンセール・パリ・トーキョウと協力して、2009年に“音楽家の為の運動療法”の講座を創設。

現在は、後進の指導や演奏を中心とした活動の傍ら、パリの「音楽家の為のクリニック」の運動療法士イザベル・カンピオンと連携し、『演奏家の障害の医療と予防』についての活動も展開している。

主催：コンセール・パリ・トーキョウ <http://www.concert-paris-tokyo.com/>

企画：プレジール

【お問い合わせ】 コンセール・パリ・トーキョウ Tel&Fax.03-3487-7967